

舟ちやぐり  
観音・南観音  
舟祭見

—歩いて、知って、楽しもう—

観船橋西詰より北を望む



# 観音・南観音 むかし・いま

天正17年(1589)、毛利輝元によって広島城の築城が始まりました。まるで海の中に街をつくるように「島普請」が始まり、城と城下町が築かれていきました。

築城から10年あまり過ぎた慶長年間(1596~1614)の初め、天満町から現在の観音中学校付近まで干拓が行われ、「観音新開」ができました。観音地区の誕生です。

さらに文政元年(1818)には「観音沖新開」として、広島県総合グランド付近まで干拓され、南観音地区が姿をあらわしました。

しばらくは、その状態が続きましたが、昭和初期から新たな干拓が始まり、昭和7年(1932)に「昭和新開」が完成し、観音新町地区が誕生しました。また、昭和19年には三菱重工業の敷地が完成しています。

一方、洪水対策のため、昭和7年から太田川改修工事が始まり、途中、中断もありましたが、昭和40年には太田川放水路の通水式が行われました。これによって、観音地区などを流れていた福島川は陸地や太田川放水路となりました。

さらに、平成9年(1997)には広島観音マリーナ、平成17年にはマリーナホップなどが整備されています。

## ウォーキングでリフレッシュ —ウォーキング・モデルコース—

### 1 天満川沿いコース：観船橋～横川新橋(片道約2km)

横川から続く遊歩道は、公園や天満川を中心に四季の風景が楽しめます。観船橋から明清稻荷神社までの遊歩道(往復約1km)は、架橋修道記念碑・凱旋碑等もあり、春にはサクラも楽しめます。

### 2 平和大通りコース：緑大橋～己斐新橋(片道約1km)

緑大橋から己斐新橋を直線で結ぶ、平和大通りの歩道や緑地。木々が生い茂り、木陰をのんびりと散歩やウォーキングが楽しめます。

### 3 西飛行場コース：太田川放水路沿い(片道約1.6km)

太田川放水路(河口)と広島西飛行場に並行する、伸びやかな環境の中の直線コースです。距離の表示もあり、体力や健康づくりなどにも役立ちます。







## 観音の資源・魅力の紹介

### ① かんおんしょうがっこう 観音小学校のクスノキ

被爆樹木、爆心地より1,800m。ここには戦前、県立広島第二中学校(「二中」、現在の広島観音高等学校)があった。被爆後に東観音町から移植されたクロガネモチもある。なお、同校には平成7年(1995)まで50m公認プールがあった。



### ② かんのいん 観音院

1600年ごろ開基の真言宗の寺院で「観音」の地の由来になった。読み方は「かんのいん」、住居表示は昭和42年(1967)「かんおんまち」に統一された。

地元では古くからの「かんのん」と呼ぶ人も多い。



### ③ みふねばし かきょうしゅうどうきねん 観船橋と「架橋修道記念」の碑

観音と舟入を結ぶのでこの橋の名がつけられた。昭和7年(1932)、この碑のところに木橋が架けられた。

原爆で被災し、さらに昭和20年9月の枕崎台風で落橋した。昭和30年に下流部に新しい橋が架けられた。



### ④ てんまのみや 天満宮

昔、町内に度々火災が起り家屋の焼失が多かった。文政5年(1822)、鎮護の神として天満宮を建てた。

平成6年(1994)、被爆してヒビ割れた礎石の上に社殿が再建された。



### ⑤ きゅうさんようどう さいごくかいどう 旧山陽道(西国街道)

天満宮の前の道路は、近世の山陽道の跡で、大阪(昔は大坂)から九州小倉を結ぶ行路であった。

西国大名の参勤交代等により、往来も盛んで、国内陸路の主要道として利用された。



### ⑥ いずもじんじや 出雲神社

観音公園内の北東側に位置。明治24年(1891)、五穀豊穡の祈願をこめて出雲神社の祭神、大国主命(おおくにぬしのみこと)をまつって孫社とした。

社殿の横に「三戦役の碑」があり、碑面の裏に戦死者の氏名などが彫られている。

※三戦役：日清戦争、北清事変、日露戦争



## 南観音の資源・魅力の紹介

### ① ひろしまけんそうごう 広島県総合グランド

昭和16年(1941)、市内の学生・生徒の勤労奉仕によって完成した施設である。

野球場は、広島市民球場が完成した昭和32年まで、広島東洋カープのホームグラウンドだった。



### ② じぞうそん みちびき地蔵尊

川での水難事故や原爆で水を求めて亡くなられた人々のために、地元有志が昭和24年(1949)に建立したもの。それ以降、水難事故はなくなった。

毎年8月には「みちびき地蔵尊夏祭」が行われる。



### ③ おうたまひこじんじや 黄魂彦神社

文政元年(1818)、観音沖新開が完成した際に、広瀬神社より勧請し、黄魂彦命の霊を新開地の氏神として迎え、まつたと伝えられている。

現在の社殿は、昭和62年(1987)に新しく建立されたもの。



### ④ しょういちいなりだいみょうじん 松一稻荷大明神

昭和初期、事の真偽は定かではないが、ここにある松の木に巻きついてた大蛇を縁起に、伏見稻荷の分霊をまつたと言われている。

松は枯れたが、平成11年(1999)春、新しい松の苗が植えられた。



### ⑤ しょうわしんがいかいこんきねんひ 昭和新開開墾記念碑

昭和開墾造成のとき、「広島観音地先埋立株式会社」を設立したことを記す碑。

碑に刻んである「昭和14年竣工」は、主体工事の完成を指すものと思われる。



### ⑥ ひろしまにしひこうじょう 広島西飛行場

昭和36年(1961)9月、観音新町地先に広島空港として開港。平成5年(1993)、本郷町(現、三原市)に新しい広島空港ができたことから、通勤用・小型機専用の飛行場となった。

南観音公民館には、ジェット機就航当時のジェットエンジンが展示してある。





# 観音ネギとお好み焼き

南観音のあたりは埋立地で砂地です。

ここに適した作物として、江戸末期の1850年代に山下民次郎によって、京都九条からネギの種が持ち帰られ、

観音ネギの栽培一銭洋食(観音ネギ入り・平成風)。これをひが始まりました。つくり返します

観音ネギの特徴は、「ぬめりがある」「ツーンとしたにおい」「みずみずしさ」ということです。

ネギが豊作のとき、あるいは台風でネギが倒れ売り物にならなかった場合、きざんで一銭洋食(お好み焼きのルーツ)に入れたらとても好評でした。

お好み焼きのネギ焼きならば、“観音ネギ”がお勧めです。

## <一銭洋食(観音ネギ入り・平成風)>

### ●材料(4人分)

生地：水1カップ、みりん小さじ1強、卵小1個、小麦粉1カップ、塩少々  
※だまのないように混ぜ、冷蔵庫で1時間ねかせる。

ネギ：1.5わ、観音ネギならば最高！  
魚粉(粉かつお)：適量…「かつおぶし」でもよい。  
青のり・おぼろ昆布・ちくわ・干しエビ等：適宜  
お好みソース(ウスターソースと醤油のブレンドでも)  
好みで：豚肉・卵など

### ●作り方

- 1 フライパン又はホットプレートに油(ラード又はサラダ油)をひき、1枚分の生地として、オタマ8分目を流し入れ、直径15cmぐらいに広げる。
- 2 生地の上に、ネギ・魚粉・干しエビ(豚肉)などの具材をのせ、つなぎの生地を少量かける。
- 3 ひっくり返して軽く押さえ、火が通るまで焼く。
- 4 (好みによって、卵を割って丸く広げ、3をのせ)再びひっくり返し、ソースをぬり、青のりをかけて半分に折って、出来上がり。

